

GIGA びより



担当 情報教育部
No. 8
発行 2023.03

1 スマホ・ケータイ安全教室

中学部生徒を対象に、「スマホ・ケータイ安全教室」を実施しました。NTT ドコモのインストラクターより、SNSでのやり取りの注意点やスマートフォンの使い方等についてスライドや動画を交えてお話いただきました。楽しく便利に使うにはどうすればいいのかを考えることができました。



2 活用の様子



【小学部】楽器アプリを使って、鉄琴を鳴らしました。小さな動きでも結果が返ってくるのは、デジタルのよさのひとつです。



【中学部】来年度の修学旅行の行先について調べました。文字入力が難しいときは、ローマ字表を手掛かりにしたり、教師や友達に聞いたりしながら入力しました。今まで知らなかった情報や魅力的な情報をたくさん見つけることができ、修学旅行への期待感が高まりました。



外付けのスイッチで、iPadの画面を操作しています。



【中学部】作業学習では、教育課程合同で班を構成しています。生徒の様子や役割に応じて、1人1台端末を使った会計補助アプリでの会計や、※VOCA教材での呼び込みに取り組みました。

【中学部】VOCA 教材を使って、校内販売会の呼び込みや挨拶をしました。話すことに困難さがあっても、端末などの機器を介すことで、生徒ができることを生かして相手に伝えられます。

※VOCA (Voice Output Communication Aids) : 音声を出力してコミュニケーションを支援する機器の総称。



【高等部】美術でコマ撮り作品作りに取り組みました。おもしろい構図や動きを友達と話し合いながら考え、工夫して撮影をしました。



【中学部 (鳥栖田代分校)】岩手県立一関清明支援学校とのオンライン交流を行いました。お互いの学校紹介などをおして関わりを楽しみました。

3 コンテンツ紹介

(1) Access Reading「文章にルビを振る」

「Access Reading」は、東京大学先端科学技術センターと同大学図書館が共同で運営している「読むことに困難があり、特別支援を必要とする児童生徒のためのオンライン図書館」です。音声教材のほか、「文章にルビを振る」サービスを提供しています。インターネットに接続した端末からアクセスし文章を入力すると、漢字やカタカナにルビ（振り仮名）が自動的に追加されます。また、ある学年以上の漢字のみにルビを振ることも可能です。ルビを追加した文章はサイト上でコピーし、Microsoft Word の文書などにペーストして使用できます。読みに苦手さのある児童生徒の教材づくりや、児童生徒自身が読みを調べる方法として活用できます。



文章にルビを振る

変換したい元の文章を以下のテキストエリアに入力して下さい

吾輩は猫である

※1,300文字程度まで

何年生以上の漢字にルビを振りますか？

小1以上の漢字

<https://accessreading.org/furigana>
(または右上 QR コード)にアクセスし、
変換したい文章を入力後、ルビの指定を
します。

変換した文章(1) 漢字にかっこで読みがなを振った文章

吾輩(わがはい)は猫(ねこ)である

コピー

変換した文章(2) 漢字をひらがなに置き換えた文章

☐ この文章を分かち書きしたい場合はチェック

わがはいはねこである

コピー

変換した文章(3) 漢字にルビを振った文章

わがはいはねこ
吾輩は猫である

指定に従って、入力した文章に読み仮名
が追記されたり、ルビが降られたりしま
す。
平仮名のみの場合は、読みやすいよう
に分かち書きで出力することもできます。

(2) DropNews (ドロップニュース)

「DropNews」は、視覚支援シンボル (イラスト) 「Drops」を公開している Droplet Project から提供されているコンテンツです。日々のニュースがシンボルで分かりやすく掲載されており、無料で平日毎日受け取ることができます。



DropNews



新型コロナウイルス感染症についてのニュースなどがシンボル
を用いて分かりやすい説明と共に掲載されています。

iPad のサイズ変更のニュースをもとに
実際に自分で計って比べてみました。

“分かりやすいから興味がわく。興味がわくと調べてみたくなる。”コンテンツです。朝の会 (HR) の話題や総合的な学習の時間等の教材として、電子黒板や1人1台端末で活用することができます。申し込み方法などの詳細については、上記 QR コードからご確認ください。

【編集後記】令和4年度が終わろうとしています。今年度は No.5～8 の4号を発行しました。令和5年度は GIGA スクール構想の本格的な実施や新型コロナウイルス感染症の扱いの変更などで、学習活動の在り方にも変化が起きそうです。本校の「1人1台端末を活用した授業改善」研究も2年目に入ります。今後も児童生徒の「分かる」「できる」を支える ICT 活用に取り組んでいきたいと思ひます。



*学校ホームページでは、カラー版を掲載しています

© 2023 Saga Pref. Nakabaru Special Needs School